



玉リバー



ネットワークの名前の由来

地域包括ケアシステムの構築が急務であることに加え、地域住民との連携と事業者間の横のつながりが大きな課題となっているため、何か「できること」という事で「カフェ」はできないか?という声から名前を考えたところ、玉川町の「玉」と「たまりば」を掛け合わせ「玉リバー」と名づけられました。

ネットワーク立ち上げの経緯

きっかけは、南第1いきいきセンターふくおかの提案からでしたが、私達の小さな「できる」が集まり「大きなできる」になればいいな!ということから行政、社協、包括からのお手伝いもいただきながらですが、平成30年4月に「玉リバー」を立ち上げることとなりました。それぞれの事業所の担当者の方と会議を重ね地域の方ともご縁をいただき少しずつ、事業所と地域の“つながり”ができてきました。

玉リバーの理念として、“**小さなできるが大きなできる**”になるように、少しずつですが、地域の方との交流をさせて頂ければと考えております。また、今後も力を合わせ「できる」が大きくなるためにも玉川校区、塩原校区事業所の皆様方と協力しながら「玉川・塩原」校区の地域活動に取り組んでまいります。

Staff Voice

地域の皆さまへ メッセージ

これから地域の皆様と共に、玉川校区地域カフェ“玉リバー”や、サロンのご協力をはじめとし、高齢者が“生きがい”を持った生活が出来るよう取り組んで行きたいと思っております。